

## 本文

※例文は学習用です。

- ① 霜葉は二月の花よりも紅なり。(霜葉紅<sub>二</sub>於<sub>一</sub>二月花<sub>一</sub>／霜葉は二月の花より紅なり)
- ② 苛政は虎よりも猛し。(苛政猛<sub>二</sub>於<sub>一</sub>虎<sub>一</sub>／苛政は虎より猛し)
- ③ 氷は水より寒たし。(氷寒<sub>二</sub>於<sub>一</sub>水<sub>一</sub>／氷は水より寒たし)
- ④ 百聞は一見に如かず。(百聞不<sub>レ</sub>如<sub>二</sub>一見<sub>一</sub>／百聞は一見に如かず)
- ⑤ 遠き水は近き火を如かず。(遠水不<sub>レ</sub>如<sub>二</sub>近火<sub>一</sub>／遠水は近火に如かず)
- ⑥ 知る者は之を好む者に如かず。(知<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>者不<sub>レ</sub>如<sub>二</sub>好<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>者<sub>上</sub>／之を知る者は之を好む者に如かず)
- ⑦ 口を守るは瓶の如くするに若かず。(守<sub>レ</sub>口不<sub>レ</sub>若<sub>レ</sub>瓶<sub>一</sub>／口を守るは瓶のごとくするに若かず)
- ⑧ 賢を用ふるに如くは莫し。(莫<sub>レ</sub>如<sub>レ</sub>用<sub>レ</sub>賢<sub>一</sub>／賢を用ふるに如くは莫し)
- ⑨ 身を修むるは敬に如くは莫し。(修<sub>レ</sub>身莫<sub>レ</sub>若<sub>レ</sub>敬<sub>一</sub>／身を修むるは敬に若くは莫し)
- ⑩ 楽しみは善を為すより楽しきは莫し。(樂莫<sub>レ</sub>樂<sub>二</sub>於<sub>一</sub>為<sub>レ</sub>善<sub>一</sub>／楽しみは善を為すより楽しきは莫し)
- ⑪ 禍ひは足るを知らざるより大なるは莫し。(禍莫<sub>レ</sub>大<sub>二</sub>於<sub>一</sub>不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>足<sub>一</sub>／禍ひは足るを知らざるより大なるは莫し)
- ⑫ 千里の馬は常に有れども、伯樂は常には有らず。馬を知るは伯樂に如くは莫し。(知<sub>レ</sub>馬莫<sub>レ</sub>如<sub>二</sub>伯樂<sub>一</sub>／馬を知るは伯樂に如くは莫し)

## 設問

- ① 「霜葉紅於二月花」について
  - 傍線部は「比較」「最上」のどちらの用法か答えよ。
  - 「於」をふまえて現代語訳せよ。
- ② 「苛政猛於虎」の「猛於虎」を書き下し文に直せ（送り仮名も含めてひらがなで）。
- ② 「苛政猛於虎」を現代語訳せよ。
- ④ 「百聞不如一见」の「不如」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
- ④ 「百聞不如一见」を現代語訳せよ。
- ⑤ 「遠水不如近火」の「不如」の訳として最も適切なものを次から選べ。
  - ア ～に及ばない（～のほうが良い）
  - イ ～してはいけない
  - ウ ～と同じである
- ⑥ 「知之者不如好之者」を現代語訳せよ。
- ⑧ 「莫如用賢」の「莫如」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。

9. ⑧「莫如用賢」について
- 「比較」「最上」のどちらの用法か答えよ。
  - 現代語訳せよ。
10. ⑨「修身莫若敬」を現代語訳せよ。
11. ⑩「樂莫樂於為善」の「莫樂於～」の部分を書き下し文に直せ。
12. ⑩「樂莫樂於為善」を現代語訳せよ。
13. ⑪「禍莫大於不知足」を現代語訳せよ。
14. ⑫「知馬莫如伯樂」について
- 「莫如」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
  - 現代語訳せよ。
15. ⑬「氷寒於水」について
- この「於」と同じ働きをしている例を、①～③から一つ選び番号で答えよ。
  - 現代語訳せよ。
16. ⑭「守口不若瓶」の「不若」は、④⑤の「不如」と意味・用法が同じか異なるか答えよ。
17. 「莫如・莫若」と「莫～於…」は、ともに最上を表す。両者の形のちがいを、例をあげて簡潔に説明せよ。(記述)
18. 次のうち「比較 (AはBより～だ)」を表す句法をすべて選び、記号で答えよ。
- ア A～於B
  - イ A不如B
  - ウ 莫如A
19. 「不如」「不若」のように、二字で「～に及ばない・～のほうが良い」と比較を表す働きを何と呼ぶか。次から選べ。
- ア 抑揚
  - イ 比較・選択
  - ウ 使役
20. ⑮「百聞不如一見」と同じ「不如 (～に及ばない)」の用法の例を、本文⑤～⑦から一つ選び番号で答えよ。
21. 「比較・最上」の句法をふまえ、「過ちては改むるに如くは莫し」のような『莫如／莫若』の文を、自分で一つ作ってみよ。(記述)